

PR TIMES(東 1:3922)

バリュエーション判断

強気 ⇒ **強気**

(2020.8.6)

目標株価

2,360 円 → **3,230 円**

決算説明会:2020年10月13日

担当 : 澤田 遼太郎

【連結優先】 (百万円、%、円:Q/四半期、会/会社計画、予/エース経済研究所予想)

決算期	売上高	伸率	営業利益	伸率	経常利益	伸率	当期利益	伸率	EPS	配当
2021/2 2Q	1,741	27	631	83	631	83	601	269	29	0.0
2019/2	2,286	33	518	38	494	33	313	30	24	0.0
2020/2	2,891	27	560	8	560	13	321	2	24	0.0
2021/2 会	3,357	16	757	35	753	34	707	121	54	0.0
2021/2 予	3,600	25	1,000	79	1,000	79	860	168	66	0.0
2022/2 予	4,340	21	1,400	40	1,400	40	940	9	72	0.0

※2020年8月に1:2の株式分割、EPSは修正後。子会社の吸収合併により2021/2期より単体決算へ移行、2021/2期の伸び率は前期連結との比較で表示

【セグメント情報】	21/2期 2Q	【PER】	【財務指標】	20/8末
ニュースリリース配信事業	100%	19/2 122	BPS 255円	株価(10/13終値) 2,872円
		20/2 118	純資産 21億円	売買単位 100株
		21/2予 53	総資産 27億円	発行株数 1,346万株
		22/2予 44	時価総額 386億円	PBR 11.25倍

<注目ポイント>

—プレスリリース等を生活者やメディアに直接配信するニュースリリース配信事業を展開—

- ① 2021年2月期第2Qは売上高17.4億円(前年同期比+27%)、営業利益6.3億円(同+83%)、経常利益6.3億円(同+83%)、当期利益6.0億円(同3.7倍)。上期計画に対する達成率は、売上高115%、営業利益253%と、大きく上振れる好決算だった。PR TIMESの利用企業数は43,516社(前四半期比+3,576社)と好調。プレスリリース数は53,477件(同+10,551件)と急増した。
- ② 2Qまでの進捗を踏まえて、エース経済研究所では、2021年2月期予想を引き上げる。企業活動の停滞でプレスリリース数の伸びが鈍化すると見ていたが、マスクやテレワーク関連など、プレスリリースは逆に増加する方向に動いた。この傾向がどの程度続くか不透明な部分はあるものの、当面は一定の押し上げが続くことを想定している。

◇ 2020年2月期 エース経済研究所 業績見通しの修正

(百万円)	売上高	営業利益	経常利益	純利益
前回	3,450	830	830	750
今回	3,600	1,000	1,000	860
修正幅	150	170	170	110

業績予想を踏まえて目標株価3230円へ引き上げ、バリュエーション判断は強気を継続

新たな業績予想を踏まえたDCF法による算出から、目標株価を2360円→3230円に引き上げ、バリュエーション判断は強気を継続する。

同社は、今期を最終年度とする中期経営計画を遂行中で、目標として「契約企業数50,000社、営業利益10億円」などを掲げていた。期初には、パンデミックの影響が不透明だったことから、会社側は慎重な計画としたが、エース経済研究所ではこれらの達成は十分可能であると考えている。

なお、近日中に取材を予定している。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載致しました。ご確認の程、お願い致します。

《アナリストによる宣言》

私、澤田遼太郎は本調査資料に表明された見解が、対象企業と証券に対する私個人の見解を正確に反映していることをここに証明します。

また、私は本調査資料で特定の見解を表明することに対する直接的または間接的な報酬は、過去、現在共に得ておらず、将来においても得ないことを証明します。

《利益相反に関する開示事項》

- エース証券株式会社(以下、エース証券)及びグループ会社は、本資料に掲載された企業の売買あるいは当企業に対し、引受、その他のサービスを提供する場合があります。
- 株式会社エース経済研究所(以下、ARI)は、エース証券との契約に基づき、エース証券への資料提供を一定期間、継続的に行うことに対し包括的な対価をエース証券から得ておりますが、本資料に対して個別に対価を得ているものではありません。
- また、銘柄選定も ARI 独自の判断で行っており、エース証券を含む第三者からの銘柄の指定は一切受けておりません。
- 執筆担当者、ARI と本資料の対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等： エース証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第 6 号

加入協会： 日本証券業協会

指定紛争解決機関： 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

■手数料等及びリスクについて

●株式の売買には、約定代金に対して最大 1.265%の手数料(約定代金が 100 万円以下の場合、最低手数料 2,750 円)(税込み)が必要となります。●外国株式(中国株を除く)の取引には、国内の取引所金融商品市場における外国株券の売買等のほか、外国金融商品市場等における委託取引と国内店頭取引の 2 通りの方法があり、当該取引には、所定の手数料等(委託取引の場合は約定代金に対して最大 11.0%(75,000 円以下の場合・税込)の委託手数料及びその他現地手数料等、国内店頭取引の場合は所定の手数料相当額、等)をご負担いただく場合があります。●株式は、株価の変動により、損失を生じるおそれがあります。●上場有価証券等書面の内容をよくお読みください。●外国株式は、為替相場の変動等により、損失を生じるおそれがあります。●非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債)を当社が相手方となりお買い付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。●債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。●外国債券は、為替相場の変動等により損失を生じるおそれがあります。●商品毎(投信・外債含む)に手数料等及びリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料をよくお読みください。

エース証券及び ARI 免責事項等

- **当資料により株式・債券・その他金融商品(投信・外債含む)等の勧誘を行うことがあります。**本資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。また、株式・債券等の有価証券の投資には、「手数料等及びリスクについて」に記載のとおり、損失を生じるおそれがあります。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願い致します。
 - 本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて ARI が作成し、エース証券(以下、当社)がお客様にご提供いたしますが、当社及び ARI は、ARI が基にした情報及びそれに基づく要約または見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。本資料に記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更することがあります。
 - 本資料を利用した結果、お客様に何らかの損害が発生したとしても、当社及び ARI は、何らの責任を負うものではありません。
- ※(著作権等)・・・本資料に関する一切の知的財産権は、原則として ARI に帰属します。電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、本資料の無断転用、複製等を行わないようお願い致します。
- ※ 尚、出所記載なき資料は各種資料より ARI 作成。